



特別支援教育の実践の手引

～ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援 ～



平成29年度版

千葉県総合教育センター

【 目 次 】

第 I 編 特別支援教育の概要

はじめに 1

第 1 章 インクルーシブ教育システムと特別支援教育の推進

1 インクルーシブ教育システムの構築 -- 1

(1) これまでの経緯

(2) インクルーシブ教育システムの理念

2 特別支援教育の理念 3

3 「合理的配慮」と基礎的環境整備 4

(1) 「合理的配慮」

(2) 基礎的環境整備

4 千葉県における特別支援教育の取組 --- 4

第 2 章 特別支援教育を推進するための体制

1 校内支援体制 5

(1) 小・中学校等における校内支援体制

(2) 特別支援学校における校内体制及び地域支援体制

(3) 特別支援教育コーディネーターの役割

2 個別の教育支援計画及び個別の指導計画 8

3 地域支援ネットワーク 9

第 3 章 特別支援教育の実際

1 幼児期における特別支援教育 10

2 小・中・高等学校等における特別支援教育 10

(1) 特別支援学級における指導(小・中学校)

(2) 通級による指導(小・中・高等学校等)

(3) 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への指導

3 特別支援学校における特別支援教育 -- 12

(1) 視覚障害者を教育する特別支援学校

(2) 聴覚障害者を教育する特別支援学校

(3) 知的障害者を教育する特別支援学校

(4) 肢体不自由者を教育する特別支援学校

(5) 病弱者を教育する特別支援学校

4 キャリア教育 14

(1) キャリア教育の定義

(2) キャリアとは

(3) キャリア発達とは

(4) キャリア教育で育成すべき力

(5) 特別支援学校のキャリア教育

5 後期中等教育の充実と自立支援 16

(1) 進路指導

(2) 産業現場等における実習

(3) 職業教育

(4) 進学

(5) 卒業後支援

(6) 自立支援と生活支援

6 特別支援学校の現状と期待される役割・課題等 17

7 特別支援学校におけるセンターとしての役割 18

8 交流及び共同学習の推進 18

(1) 交流及び共同学習の推進に関わる規定

(2) 学習指導要領における位置づけ

(3) 交流及び共同学習の実際

第 4 章 専門性の維持・向上と適切な就学指導

1 学校と教員の専門性の維持・向上 -- 19

(1) 特別支援学校教諭免許状保有率の向上

(2) 研修の充実

(3) 専門職の活用

(4) 教育相談の充実

(5) 障害種別ネットワークの構築

2	医療的ケア	20
(1)	定義	
(2)	医療的ケアの内容	
(3)	千葉県における医療的ケアの現状	
3	適切な就学指導	22
(1)	障害の状態等を踏まえた総合的な観点からの就学先の決定	
(2)	千葉県教育支援委員会の役割	
(3)	市町村教育支援委員会等の役割	
(4)	小・中学校の校内教育支援委員会等の役割の充実	

第Ⅱ編 学校教育の実際

第1章 学校の組織と運営

1	学校経営	24
(1)	学校教育目標	
(2)	学校経営の方針	
(3)	学校経営の重点	
(4)	学校経営と学部・学級経営	
2	組織と運営	25
(1)	校務分掌	

第2章 教育課程

1	教育課程の意義	25
2	教育課程の編成	25
3	教育課程編成上の留意点	26
(1)	法令及び学習指導要領に示すところによること	
(2)	児童生徒等の障害の状態，発達段階などを考慮すること	
(3)	地域や学校の実態を考慮すること	
4	教育課程の編成と編成者	26
5	重複障害者等に関する教育課程の取り扱い	27
6	特別支援学級等の教育課程の編成	27
(1)	法令上の規定	

(2)	教科用図書	
(3)	教育課程編成上の留意点	

第3章 学級経営

1	学部経営と学級経営	29
2	学級経営の内容	29
3	学級経営の実際	29
(1)	学級目標の設定	
(2)	児童生徒等の理解	
(3)	教室環境の整備	
(4)	家庭との連携	
(5)	学級事務の処理	
4	学級経営の評価	31
5	学級担任の在り方	31
6	教員の一日の仕事	31
(1)	出勤から始業まで	
(2)	朝の会，HR（ホームルーム）	
(3)	授業に当たって	
(4)	教科用図書の活用	
(5)	事故発生への対応	
(6)	給食の指導	
(7)	帰りの会，HR（ホームルーム）	
(8)	授業終了後	

第4章 指導の実際

1	教員としての心構え	34
2	学習指導に当たって	34
(1)	確かな指導をめざして	
(2)	指導に当たって	
(3)	新任の教員に望むこと	
3	人権教育の推進	35

第5章 健康・安全教育

1	健康・安全教育の重要性	35
2	児童生徒等の健康状態の把握	35
(1)	観察を通しての健康状態の把握	
(2)	記録を通しての健康状態の把握	

3	健康・安全の指導	36
(1)	健康に関する基本的事項の指導	
(2)	病気の予防に関する指導	
(3)	情緒の安定のための指導	
(4)	性に関する指導	
(5)	薬物乱用防止に関する指導	
4	安全教育	37
(1)	避難訓練の充実	
(2)	災害時における教職員の心得	
5	事故防止と対応・処置	38
(1)	事故防止のための日常的な安全管理の徹底	
(2)	事故への対応・処置	

第Ⅲ編 障害のある子へのアプローチ

第1章 視覚障害のある子の教育

1	視覚障害とは	40
2	視機能	40
3	主な眼疾患	40
4	視覚障害の分類	41
(1)	全盲児(者)の状況	
(2)	弱視児(者)の状況	
5	本県の視覚障害教育	42
(1)	視覚障害者を教育する特別支援学校と視覚障害教育	
(2)	弱視特別支援学級	
(3)	通級指導教室	
6	視覚障害教育の動向	44

第2章 聴覚障害のある子の教育

1	聴覚障害とは	45
(1)	聴覚障害について	
(2)	聴力測定	
(3)	補聴器の活用	
(4)	人工内耳	
(5)	コミュニケーション手段	
2	教育的対応	48

- (1) 就学基準と教育の場
- (2) 教育的支援

第3章 知的障害のある子の教育

1	知的障害とは	49
(1)	知的障害という用語について	
(2)	知的障害について	
2	知的障害のある子に応じた教育課程編成	49
(1)	基本的な考え方	
(2)	特性の理解と教育的対応	
(3)	障害に応じた教育課程の編成	
①	特別支援学校	
②	特別支援学級	

第4章 肢体不自由のある子の教育

1	肢体不自由とは	53
(1)	医学的側面からみた肢体不自由	
(2)	心理学的、教育的側面からみた肢体不自由	
2	肢体不自由児の学習等にみられる特性	54
(1)	随伴する障害からの特性	
(2)	教育的側面からの特性	
3	肢体不自由児への教育的対応	55
(1)	肢体不自由特別支援学校	
(2)	肢体不自由特別支援学級	
(3)	通級による指導	
(4)	通常の学級での指導上の留意点	

第5章 病弱・身体虚弱のある子の教育

1	病弱及び身体虚弱について	57
(1)	病弱とは	
(2)	身体虚弱とは	
(3)	病弱教育の対象となる病気	
2	教育的対応	58
(1)	積極性・自主性・社会性の涵養	
(2)	心理的安定への寄与	
(3)	病気に対する自己管理能力	

(4) 治療上の効果等	
3 病弱特別支援学校での教育 -----	59
(1) 学校の概要	
(2) 教育課程の編成	
(3) 指導上の配慮事項	
4 病弱・身体虚弱特別支援学級での教育 -----	60
5 通級による指導（病弱・身体虚弱）	60
6 通常の学級における指導 -----	60
7 病弱・身体虚弱の子どもへの教育における合理的配慮の観点 -----	60
(1) 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮	
(2) 学習内容の変更・調整	
(3) 情報・コミュニケーション及び教材の配慮	
(4) 学習機会や体験の確保	
(5) 心理面・健康面の配慮	

第6章 言語障害のある子の教育

1 言語障害とは -----	61
2 言語障害と対人関係 -----	62
3 言語障害の種類と症状、指導上の留意点 -----	62
(1) 言語発達の遅れ	
(2) 構音障害	
(3) 吃音	
(4) 声の障害	
4 言語障害のある子の教育の場 -----	64
(1) 言語障害特別支援学級の対象	
(2) 通級による指導(言語障害)の対象	
(3) 言語障害教育を受ける児童生徒	
(4) 通常学級や家庭との連携による教育	

第7章 情緒障害のある子の教育

1 情緒障害とは -----	65
2 情緒障害教育の対象 -----	65
3 障害の特性と対応 -----	66
(1) 選択性かん黙	
(2) チック（トゥレット症候群を含む）	

(3) 摂食障害	
(4) 不安障害（パニック障害）	
(5) 不登校	
(6) 児童虐待	
(7) その他の情緒障害	

第8章 自閉症のある子の教育

1 自閉症とは -----	70
2 自閉症のある子の理解 -----	70
(1) 社会性の障害による特徴	
(2) コミュニケーションの障害による特徴	
(3) 固執行動や常同行動、こだわり(想像力の障害)による特徴	
(4) その他の特徴	
3 自閉症のある子の教育的支援 -----	71
(1) 支援の基本は構造化(分かりやすい環境)	
(2) 社会性への支援	
(3) コミュニケーションの支援	
(4) パニックへの対応、適切な行動への支援	
(5) 感覚面での配慮について	
(6) 通常の学級等における指導	

第9章 LD, ADHDのある子の教育

1 LDのある子の理解と支援 -----	73
(1) LD(学習障害)とは	
(2) LDのある子の抱える困難さ	
(3) LDのある子に対する教育的指導・支援	
2 ADHDのある子の理解と支援 -----	74
(1) ADHD(注意欠陥/多動性障害)とは	
(2) ADHDのある子の抱える困難さ	
(3) ADHDのある子に対する教育的指導・支援	
3 LD, ADHDに共通する考え方 -----	75
(1) 気づきから支援へ	
(2) 支援にあたっての留意事項	
(3) 二次障害の予防	
(4) 校内、保護者、諸機関との連携	

第10章 複数の障害を併せ有する子の教育

- 1 重複障害と重複障害教育の経緯 ---- 77
- 2 重複障害児の指導について ----- 78
 - (1) 教育課程の取り扱い
 - (2) 重度・重複障害児の支援の観点
 - (3) 係わり手である教師の在り方

第11章 自立活動の指導

- 1 自立活動の指導とは ----- 80
 - (1) 子どもたちの困っている様子
 - (2) 自立活動の指導の意義
 - (3) 自立活動の指導の位置づけ
- 2 自立活動の目標 ----- 81
- 3 自立活動の内容 ----- 81
- 4 自立活動の教育課程上の位置づけ ---- 81
 - (1) 教育課程上の位置づけ
 - (2) 「自立活動の時間における指導」と「自立活動の指導」について
- 5 自立活動の実際 ----- 82
 - (1) 実態把握
 - (2) 指導の目標の設定
 - (3) 具体的な指導内容の設定
 - (4) 評価

資料

- 特別支援教育に関する情報サイト ----- 85
- アセスメントに利用される諸検査等 ---- 86
- 学習指導(支援)案の形式(参考例) ----- 87